

第37回高松ストーマケア・創傷ケア検討会

主な内容

「当地域のストーマ・褥瘡・失禁ケアの問題について～アンケート結果報告～」

高松赤十字病院

皮膚・排泄ケア認定看護師

講師 山本由利子

「ストーマ・褥瘡に関連した地域連携の問題の実際」

滝宮総合病院

皮膚・排泄ケア認定看護師

講師 細川 三規子

香川大学医学部附属病院

皮膚・排泄ケア認定看護師

大島 由紀江・納田 広美

「排泄用具の選択」

高松赤十字病院

皮膚・排泄ケア認定看護師

山本 由利子

「失禁のスキンケア」

香川労災病院

皮膚・排泄ケア認定看護師

松永 希

「排便コントロールの食事」

さぬき市民病院

皮膚・排泄ケア認定看護師

古本 祐香理

2014年4月12日(土)10時～16時サンメッセ高松で行われました。近年、地域連携や在宅ケアが注目されています。そこで、「ストーマ、褥瘡、失禁に関連した地域連携の問題」のテーマを中心に検討会を行いました。円滑な地域連携に向けての方法や事例を通してケア介入の実際について貴重な講演をして頂きました。

当検討会では事例検討など身近な問題を多角的に意見交換したり、実技なども行ったりしています。ぜひ、お気軽にご参加下さい。

特別講演



「円滑な地域連携のために」

三豊総合病院 訪問看護ステーション所長

保健師・看護師

大江 美樹先生

症例検討ではさまざまな立場から意見交換ができました。





褥瘡ケア、ストーマケアに関連する展示がありました。各メーカーの方から商品の特徴を説明していただき、よい機会となりました



次回の検討会は6月21日(土)高松テルサです
ぜひ、ご参加ください